

特集：介護の仕事の**魅力**を伝えたい

支援が必要な方の体も心も支える**大切な**仕事

人生の先輩と向き合うことができる**豊かな**仕事

学ぶことが多く、**成長できる**仕事

11月11日は「介護の日」。

介護の仕事について、どのようなイメージを持っていますか？

「体力的にきつそう？」「働く環境が大変そう？」

そのようなイメージを持っている方も多いかもしれません。

しかし、現場にはいきいきと仕事をしている職員の皆さんがいます。

人生の先輩から「生き方」を学び、人間として成長できる仕事。

今号が少しでも介護の仕事に興味を持つきっかけになったら幸いです。

問合せ 介護保険課 内線 216

介護の現状と課題

2025年問題という言葉
葉を聞いたことがありますか？
団塊の世代が75歳以上
になり、介護を必要とする
方の増加が見込まれていま
す。また、介護の現場は「人
手不足」という声を耳にし
ますが、今後さらに深刻化
することが予想されます。
人手不足により、施設で
働く職員の負担が増えるこ
とや介護を必要とする方が
サービスを利用できないと
いった課題も出てきます。

日立市の状況

日立市の高齢化は、国・
県を上回るスピードで進行
しており、およそ3人に1
人が65歳以上の高齢者と
なっています。

こういった状況から、介
護を必要とする方(要支援・
要介護認定者)の数は今後
も増えると見込まれ、サー
ビスを支える介護の担い手
が不足することが心配され
ています。

市内の介護事業所を対象
に、令和元年に実施した調

査では、約60%の事業所で
介護職員が不足していると
回答しています。また、1年
間に離職する介護職員のう
ち、経験年数1年未満の方
が40%以上となっています。

介護の仕事の魅力

介護の仕事は、「体力的に
きつそう」「利用者との人間
関係が大変そう」などのイ
メージを持たれがちです。
しかし、現場では、さまざ
まな職種の職員が互いに連
携し、協力しながら、利用者
のために誇りと思いをもつ
て、仕事をしています。

今号では、介護の現場で
働く職員の方の思い、福祉
の資格取得を目指して日々
勉強に励む学生と、市の取
り組みを紹介します。

次のページから職員の思いや
学生と市の取り組みを紹介！



介護の仕事に向き合う私の“想い”



社会福祉法人 日立高寿園
特別養護老人ホーム サン豊浦
介護主任 伊藤 睦子さん

家族の次に近い存在でいられる仕事、それが介護

長い方だと20年来のお付き合いになります。その方々が最期をどのように迎えたいか。私なりの情報をご家族様に提供し、家族の話や想いも聞いた上で話し合いを行います。24時間、それも人生の最期のときまで、家族でないのに関わることができる。家族の次に近い存在でいられる。それは介護の仕事だけではないでしょうか。素晴らしいと思います。

働く上で大切にしていること

利用者さんにとってもっと良いケアができないかと常に考え続けていくことが大事。この仕事に対して満足というか、「これで良い」と思った瞬間にプロの介護職ではなくなると思っています。正解も終わりもないし、実際大変な仕事ではあるけれど、これまで関わった全ての方との経験が思い出であり、ひとつひとつが宝物です。

感染症対策

これまでも各施設では感染症対策を行ってきましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、面会や外出の制限をせざるを得ない状況となっています。

しかし、面会を楽しみにしている利用者の想いに応えるため、そして家族の不安を少しでも解消するため、各施設でできることを考え、取り組みを行っています。

*取り組みは施設により異なります。

【取り組みの一例】

- オンライン面会
- ガラス越しの面会
- 家族あてに写真付きのはがきで様子をお知らせ



家族とのオンライン面会の様子



社会福祉法人 正和会
特別養護老人ホーム 成華園
介護職員 大平 梨奈さん

働く上で大切にしていること

一人ひとりに寄り添った支援を大切にしています。認知症などの病気を抱えている方もいる中で、利用者さんのこだわりや想いにきちんと寄り添えているか、対応を悩むこともあります。主任や先輩に相談することもありますし、改善が必要な場合は提案し、話し合いをすることもあります。

大変なことは

夜勤があるなど変則勤務なので、生活のリズムを整えるのが大変です。体力は必要だと感じます。

介護を目指す方へ

介護の仕事は、マイナスのイメージを持っている方が多いのも事実だと思います。しかし、実際に働いてみると利用者さんの笑顔を見ることができたり、感謝されたりとやりがいがあるところがあるので、ぜひ一緒に福祉を盛り上げていけたらいいなと思います。

学生プロジェクト

介護に対するイメージアップ

学生プロジェクトとは

市と茨城キリスト教大学の連携事業の一環として、学生たちがまちづくりなどをテーマに調査・研究を行い、発表するもので、平成20年度から実施しています。

介護の現場にどのようなイメージを持っていますか？

介護施設で働きたいと思ったとき、少し勇気がいるかもしれません。

今回のプロジェクトでは、介護の現場で働く方の現状や想いを伺い、身近な存在であることを感じていただけるよう、研究を重ねています。

「介護は大変」という面がクローズアップされ、職員の方の想いや利用者との関わり方を知る機会が少ない中で、介護に対するイメージアップを図る提案を考えます。



茨城キリスト教大学
生活科学部 心理福祉学科
3年 吹野 愛奈さん

高校三年生のとき、高齢者デイサービスのボランティアに参加したことで福祉の仕事に興味を持ちました。一方で、介護に対して、マイナスのイメージも持っており、そのイメージが変わるきっかけになるのではないかと考え今回のプロジェクトに参加しました。

今は多くの方が長生きする時代で、介護を経験する方は多いと思います。私自身が今回のプロジェクトで経験した「イメージの変化」を多くの方と共有できるように介護の魅力を伝えていきたいです。

将来は、利用者の充実した生活を支援できるような仕事をしたいと思っています。これから盲老人ホームで実習を行います。今は楽しみな気持ちと、不安な気持ちが入り混じった状態です。多くのことを学び、まずは自分も利用者も楽しい気持ちを持てるような実習にしたいと思っています。



介護保険制度について勉強しました



利用者さんと会話を楽しんでいる様子



施設の取り組みや職員の想いを伺いました

学生の多くが、実習などで数日間介護施設に行き、実際に現場を経験するとイメージが変わったと話します。

それは、仕事の大変さや厳しさを知ることはもちろんですが、プロの介護職の方を目にする中で、専門性を高める必要性を痛感したり、実際に働いている方の想いや利用者との関わり方を知ることにより、介護のイメージが変わっていくのではないかと思います。

介護施設や介護職と聞くと、マイナスのイメージを抱かれることも多いですが、実際に介護施設を訪れると、職員が利用者と良好な関係を築き、利用者がその人らしく生活できるようにさまざまな面から配慮されています。

物事は、知ることだけで思いが生まれません。介護施設が地域の方や介護職を目指す方にとって身近な存在となり、関わりやすい場となることで、多くの方に介護の仕事について知ってほしいと思います。このプロジェクトがその一助になることを期待します。



茨城キリスト教大学
生活科学部 心理福祉学科
藤島 稔弘 准教授

働き続けることができる

環境整備が重要

これまでの市の取り組み

市では、これまで、人材確保などに関して次のような情報提供や研修会などを実施してきました。

- 介護職員の賃金向上を目的に介護報酬を加算して支給する制度（処遇改善加算）の取得促進や介護事業所へ情報提供

- 「魅力ある職場づくり」を進めていくために、人材確保等支援助成金や活用できるツールの紹介など



介護保険課 豊田主幹



介護サービス事業者懇談会での講演会の様子

今後の取り組み

介護の現場で働く方が、やりがいを持って働き続けるためには、現場における業務仕分け、介護ロボットやICTの活用など、介護の現場を変えていくことも重要です。

今後、県や事業者と連携し、介護の現場の環境整備、介護人材の確保・定着に向けた支援や介護という仕事の魅力発信などに取り組んでいきます。

介護の資格を取得したい方・

福祉の仕事を探している方を応援します！



介護保険課 柳井主事

【日立市の取組】

◎奨学生医療・介護・福祉職就業支援補助制度

日立市の奨学金を利用して大学などを卒業した方が介護福祉士などの国家資格を取得して、市内の事業所に就業した場合などに補助します。

問合せ 地域医療対策課 TEL 23-6766

◎女性の就業専門資格取得等補助金

出産・育児、介護などのために離職した女性や就業したことのない女性の就業を応援するため、介護福祉士などの資格取得経費の一部を補助します。

問合せ 女性若者支援課 TEL 26-0315

【茨城県の取組】

◎いばらきふくしのおしごとナビ

福祉の仕事への就業を考えている方やこれから資格を取りたい方、福祉を学びたい方などに向けた支援制度のほか、福祉に関する幅広い情報を発信しています。

問合せ 県保健福祉部福祉指導課福祉人材確保室
TEL 029-301-3197

◎茨城県福祉人材センター

県内の福祉職の求人情報の提供や相談業務、無料職業紹介を行っています。

問合せ 県福祉人材センター（県社会福祉協議会内）
TEL 029-244-4544



いばらきふくしのおしごとナビ
QRコード